

令和4年6月定例市議会

行政報告要旨

総社市

本日、6月定例市議会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいまして誠にありがとうございます。また、日頃から市議会の皆様の、新型コロナウイルス感染症対策へのご協力と、議会運営に、格別のご配慮を賜り重ねてお礼申し上げます。

本市最大の危難たる、平成30年7月豪雨災害から早や4年。あの災害を風化させてはならない、その決意を胸に、今年も7月6日、総社市役所において平成30年7月豪雨災害四周年式典を開催いたします。今年の雨季は多雨が予想されており、教訓を糧に万全を期す、その想いで6月5日水防訓練も実施しました。12名の尊い犠牲を、決して無駄にせず、二度と人命を失うことがないように、対策を講じてまいります。

ここで、先般ございました全国市長会会長選挙について、ご報告させていただきます。私は、全国市長会が陳情団体から政策集団に変貌し、そのことにより、活力ある全国の基礎自治体に変革していくことこそが、我が国の、ひいては、岡山県、そして総社市の将来につながると志を立て、会長選挙に立候補いたしました。しかし、力及ばず落選いたしました。しか

し、旧態依然としたこれまでの全国市長会に、一石を投じることができたと思っております。今後更に、総社市から全国を変えていくべく、精進してまいる決意でございます。

### 1) 人口減少，待ったなし～大逆転へのプロローグ～

本市は、昨年11月19日、最大人口69,904人を記録しました。しかし、それから約半年後、昨日の人口は69,646人、最大人口から258人減となりました。

ちょうど1年前、私は令和3年6月議会において、これからの総社市政を、コロナ禍から総社経済が再生・復活するためのプロローグと位置付けました。さらに、人口減少という大きなピンチを迎えると想定し、本市は、このまま衰退するか、持ち直せるのか、まさに瀬戸際。下に向かったベクトルを、必ずや上向きに大逆転させる。幸い、現在取りまとめている令和3年度一般会計決算は、約18億円の2年連続黒字決算となる見込みです。人口増加に資する施策を第一義と捉え、迅速に、実行に変える議論をしてまいります。

本市のもっとも大切にしてきたこと、それは社会的弱者への徹底的な寄り添いです。今こそ、この原点に立ち返り、住みたい、住み続けたい総社市となるよう、全国屈指の福祉文化先駆都市を深化させ、市民一人ひとりに徹底的に寄り添う施策を更に推進してまいります。

まずは、何をおいても、子育て王国そうじゃ。子育てテーマにおいて、今一度、諸施策を見直し、子ども本位の真の「子育て王国」を建て直してまいります。

そして、困っている人を見過ごさない、見逃さない地域をつくる。一人ひとりの安心安全を守るため、地域で課題を見つけ、見守り、行政のセーフティネットへつなげる体制をつくります。そのためにも、現在、高齢者を対象としている小地域ケア会議を、全世代型へ移行してまいります。

人口が増加し続けている地域は、これを助長せしめる必要があります。刑部三須線や180号バイパスなど幹線道路を中心とした市街地のポテンシャルをより高め、人を呼び込む。それを可能にする受け皿を整備する。そのための調整をこれ

から行っていきます。

一つひとつの地区の状況はそれぞれ異なり、また、地域の主役はもちろん市民です。その地区が目指す中長期的な将来ビジョンを、地域の方に寄り添いながら共に描き、地区計画制度などを活用しながら、その地区独自のまちづくりを共に実行してまいります。

また、空き家対策を更に強力に推進すべく、空き家調査で最新の実態を把握し、空き家所有者への働きかけを強化することで、市街化区域に着実に人を呼び込みます。

## 2) 新型コロナウイルス感染症対策

次に、新型コロナウイルス感染症への対応についてご報告いたします。

オミクロン株の猛威により、本市でも感染者数が増加、ピークは過ぎたものの、現在療養中の方は62人、うち自宅療養者は52人となっています。

ワクチンの3回目接種完了者は43,261人、12歳以上の市民の69.7%となっています。4回目接種についま

しては、3回目接種から5ヶ月経過した方へ、順次接種券を発送しております。現在の接種対象者は、60歳以上の方や、18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する方などであり、5月25日から接種を開始しました。希望者への速やかな接種を進めてまいります。

また、オミクロン株の特性を踏まえ、5月24日開催のそうじゃ総合教育会議で議論を行い、市内小中学校等の学級閉鎖基準を緩和しました。今後も、子どもの学びの保障と保護者の負担軽減を考えながら、感染症対策を進めてまいります。

### 3) 緊迫する社会情勢から市民の暮らしを守る

数年にわたり長引くコロナ禍の影響に市民があえぐ中、さらに追い打ちをかけるような原油価格・物価の急激な高騰は、市民の生活を直撃しています。市民生活を全力で守り抜く、市内事業者を全力で応援する、そのための緊急経済対策として、「そうじゃ物価対策応援券」を、今議会にお諮りします。プレミアム率過去最大の70%、経済効果は過去最大の約12億円。この緊急経済対策が大きいうねりを起こし、必

死で頑張る事業者へ市民全員でエールを送り、総社経済が粘り強く持ち直すことを切に望みます。

また、今議会には、低所得子育て世帯や住民税非課税世帯に対する特別給付金もお諮りしますが、専決処分である低所得ひとり親世帯への特別給付金、児童一人当たり5万円につきましては、本日より支給します。

必要な方に、必要な支援を、速やかに。予算案を可決いただきましたら、迅速に実行に移します。

ロシアのウクライナ侵攻は、市民の命と日常生活を奪い、子どもたちの未来と希望を絶ちました。世界平和は人類共通の願いであり、この事態を看過することはできません。

本市は、4月19日、ウクライナ避難民への支援を表明しました。本市が長年積み上げてきた多文化共生の実績、そしてウイングバレイをはじめとする民間企業との固い絆を生かし、祖国から避難せざるを得なかったウクライナ避難民を受け入れ、住居、就労、交通、言語、子育て等、日本での生活を総合的にサポートしてまいります。

#### 4) そうじゃ夜間中「学びの教室」

市民の学び直しニーズに対応した、その名も「そうじゃ夜間中『学びの教室』」は、いよいよ6月27日に開校式を迎えます。毎週木曜日18時20分から20時15分、中央公民館常盤第2分館での開催です。開校時の受講者数は14人ですが、今後もニーズを丁寧に聞き取り、希望者に学び直しの場を提供できるよう努めてまいります。

#### 5) 2月議会での検討について

ここで、2月議会での検討事項につき、その結果をご報告いたします。

岡崎議員から、商品中古軽自動車について、軽自動車税種別割を課税免除できないかとのご意見をいただきました。これについては、市税条例の一部改正及び課税免除取扱要綱の制定を令和4年度中に行い、令和5年度分からの課税免除実施に向けて準備を進めてまいります。

また、山田議員から、認知症見守りGPS購入費助成事業の、今後の方針に関するお尋ねがありました。これについて



は、GPS機器本体及び付属機器に加え、GPSを内蔵できる専用ケース等を助成対象に追加しております。

社会情勢が不安定な中、本市もついに人口減少という難局を迎えました。しかし、ピンチをチャンスに変えてきたのが総社市です。この困難を好機と捉え、これまで以上に市民に寄り添い、市民一人ひとりの幸せを追求してまいります。

議員の皆様をはじめ、市民の皆様におかれましても、より一層のご理解と、ご協力をお願い申し上げ、私からの行政報告とさせていただきます。